

## 専門研究 A

# インクルーシブ教育システムにおける教育の 専門性と研修カリキュラムの開発に関する研究

(平成23年度～24年度)

## 研究成果報告書

平成25年3月



独立行政法人  
国立特別支援教育総合研究所

## はじめに

平成 18 年 12 月、第 61 回国連総会において、「障害者の権利に関する条約」が採択され、平成 20 年 5 月に発効した。我が国は平成 19 年 9 月に同条約に署名し、現在批准に向けた検討を進めているところである。

教育分野についていえば、障害のある子どもが障害のない子どもと共に教育を受けるといふ障害者権利条約のインクルーシブ教育システム構築の理念を踏まえた検討が、中央教育審議会初等中等教育分科会「特別支援教育の在り方に関する特別委員会」にてなされ、これを受けて、平成 24 年 7 月に同分科会から「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」（報告）が出された。

さて、インクルーシブ教育システムにおいては、「同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、個別の教育的ニーズのある幼児児童生徒に対して、自立と社会参加を見据えて、その時点で教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できる、多様で柔軟な仕組みを整備することが重要である。」と言われている。（上記「報告」より）

子ども一人一人の多様な教育的ニーズに応じた指導を行うには、教員個々の専門性の向上を図るだけでなく、教員一人一人の力がより一層発揮されるようなシステムの構築を考えていく必要がある。さらには、組織や地域として専門性を担保していく仕組みが必要である。

本研究では、インクルーシブ教育システムの構築に向かう国の政策の方向性に対応し、その要となる人材育成及び専門性を担保するためのシステムについて検討し、関係機関に情報提供を行うことを目的としている。

研究 1 年目では、研修に関わる情報を国内外から収集・分析し、インクルーシブ教育システムを構築していくための研修に必要な要素について検討し、それらを踏まえ、関係者に求められる専門性の考え方について整理した。

研究 2 年目では、1 年目を受け、インクルーシブ教育システムを構築していくために、すべての教員に求められる資質・能力とは何かについて検討し、それらを習得するための研修の方策例である「インクルーシブ教育システム構築に向けた研修ガイド 多様な学びの場の教育の充実のために―特別支援教育の活用―」（試案）を取りまとめた。また組織及び地域としての専門性の担保の仕組みについて情報収集し、実践例を検討した。

ここに本研究 2 年間（平成 23 年度～24 年度）の成果を報告する。本研究の所期の目的である「関係機関への情報提供」に十分な内容であるか等、是非ご批評いただきたい。

研究代表者 教育研修・事業部 総括研究員 澤田 真弓



# 目 次

はじめに

<b>第Ⅰ章 研究の概要</b> .....	3
1. 研究の全体構想	
2. 研究の目的及び意義	
3. 研究計画・方法及びその実績	
4. 研究組織	
<b>第Ⅱ章 情報収集及び概念整理</b>	
1. インクルーシブ教育システムをめぐる国内の動向と課題 .....	9
2. 各都道府県市における教員等の専門性向上の取組 .....	16
3. 各都道府県等の教育センターで実施されている研修の現状 .....	26
4. 海外における障害のある子どもの教育システムと教員養成及び研修の現状 ..	30
5. 海外の文献からみたインクルーシブ教育システムにおいて必要とされる教員の専門性や研修内容 ..	45
<b>第Ⅲ章 専門性の考え方の整理</b>	
1. 専門性の考え方の整理 .....	57
2. 職種・役割ごとの専門性	
(1) 管理職に求められる専門性 .....	58
(2) 特別支援教育コーディネーターに求められる専門性 .....	62
(3) 特別支援学校、特別支援学級、通級による指導を担当する教員に 求められる専門性 .....	72
(4) 通常の学級担任に求められる専門性 .....	81
(5) 特別支援教育支援員に求められる専門性 .....	87
3. すべての教員に求められる専門性 .....	93
<b>第Ⅳ章 研修カリキュラム立案のための方策とその具体例</b> .....	97
1. 研修の目的と構造	
2. 「インクルーシブ教育システムの構築に向けた研修ガイド 多様な学びの場の教育の充実のために－特別支援教育の活用－」（試案）の 考え方と構成	

3. 「インクルーシブ教育システムの構築に向けた研修ガイド  
多様な学びの場の教育の充実のために－特別支援教育の活用－」（試案）の  
活用の仕方  
＜参考＞ 「公開研究協議会」記録

第V章 組織及び地域としての専門性の担保の仕組み ..... 109

1. コミュニティ・スクールの取組による専門性担保の仕組み
2. 地域の教育資源を活用した専門性担保の仕組み
3. 学校と教育委員会及び大学との連携による専門性担保の仕組み
4. 様々な事業の実施による専門性担保の仕組み
5. 訪問調査によって得られた事例

第VI章 総合考察 ..... 123

【巻末】

(試案)

インクルーシブ教育システムの構築に向けた研修ガイド  
多様な学びの場の教育の充実のために  
－特別支援教育の活用－

＜研修ガイドがめざすこと＞	.....	131
■ ■ 多様な学びの場の教育 ■ ■	.....	131
■ ■ 多様な子どもたち一人一人のニーズに応じた教育の充実	.....	132
1. 専門性と研修の考え方	.....	132
2. 研修の内容	.....	134
■ ■ 研修の企画立案にあたって ■ ■	.....	135
1. 教育課題と研修ニーズの把握	.....	136
2. 研修計画の立案	.....	136
3. 研修の実施	.....	137
4. 研修の評価	.....	138
■ ■ 研修の企画・運営の実際 ■ ■	.....	139
1. 課題把握のチェックリスト	.....	140
2. 研修の観点	.....	143
3. 研修企画の参考資料 ～各研修項目の解説～	.....	150
4. 研修の企画例	.....	192